

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組1	産業の新たな展開の推進
取組の目的	企業の新たな展開を支援するとともに、地域経済を支える企業の誘致を推進します。

現状と課題	<p>◎国内経済は回復基調にあるが、保護主義の台頭や地政学リスクも懸念され、世界経済の先行きは不透明である。中小企業を中心に人手不足が深刻となっており、経済成長に向けた課題となっている。また、今後人口減少などにより内需は縮小傾向にあり、海外に生産拠点を移すなどの傾向が続いている。</p> <p>◎市内には条件の良い工場用地が少なくなっており、企業の引き合いに応えることができない可能性がある。中小企業では、生産性の向上や販路開拓、新技術や新製品の開発など、新たな取組の必要性が高まっている。</p>
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	企業立地件数(製造業) (件)(H28~32累計)	目標値	—	—	1	3	9	100.0%
		実績値	9 (H22~26累計)	0	2			
2	製造品出荷額等(従業員4人以上) (億円)	目標値	—	—	5,183	5,261	5,500	—
		実績値	4,957	5,175	H29.10 県公表予定			
3	静岡理工科大学と市内企業の 共同研究件数 (件)(H28~32累計)	目標値	—	—	4	8	20	75.0%
		実績値	15 (H22~26累計)	4	3			
4	経営革新計画の承認件数(製造業) (件)(H28~32累計)	目標値	—	—	5	10	25	80.0%
		実績値	15 (H22~26累計)	6	4			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								85.0%

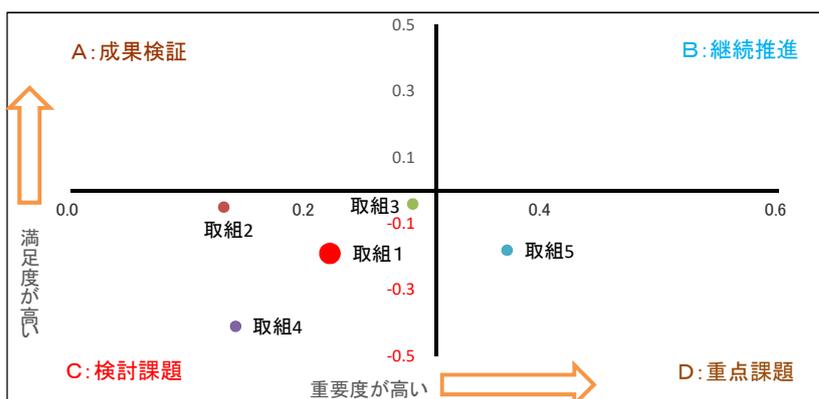
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	製造品出荷額等(万円) 従業員4人以上 「平成26年工業統計調査報告書」	51,745,631	178,697,148	106,736,391	42,565,066	38,658,994	—
2	製造事業所数 従業員4人以上 「平成26年工業統計調査報告書」	238	589	343	359	109	—
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.22				
満足度	-0.19				

### 政策4 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に重点化する事業
		H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	

##### 基本方針(1)新たな展開への支援

産学官連携推進事業	産業政策課	4,694	5,322	継続	◎
産業経済懇話会	企画政策課	0	3,000	継続	

##### 基本方針(2)活力ある工業の振興

産学官連携推進事業【再掲4-1-(1)】	産業政策課	4,694	5,322	継続	
袋井商工会議所補助事業	産業政策課	18,250	17,500	継続	
浅羽町商工会補助事業	産業政策課	8,730	8,290	継続	
創業支援推進事業	産業政策課	926	1,200	継続	

##### 基本方針(3)企業誘致の推進

産業立地事業費補助金交付事業	産業政策課	115,186	51,300	継続	
工場立地奨励補助金交付事業	産業政策課	77,303	72,237	継続	
工業用地開発推進事業(小笠山山麓)	産業政策課	4,428	7,000	継続	◎
工業用地開発推進事業(藤ヶ谷川)	産業政策課	87,097	60,000	完了	

##### 基本方針(4)人材育成と経営力向上の支援

産学官連携推進事業【再掲4-1-(1)】	産業政策課	4,694	5,322	継続	
袋井商工会議所補助事業【再掲4-1-(2)】	産業政策課	18,250	17,500	継続	
浅羽町商工会補助事業【再掲4-1-(2)】	産業政策課	8,730	8,290	継続	
小口資金利子補給事業	産業政策課	47	101	継続	
短期経営改善資金利子補給事業	産業政策課	382	558	継続	
景気対策特別資金利子補給事業	産業政策課	1,439	1,981	継続	


#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎防潮堤整備と連動した豊沢工業団地整備は計画的に進んでおり、本年5月にはIoT関連製品等を製造する企業の進出が決定した。さらなる企業立地に対応するため、小笠山山麓開発事業の推進をはじめ、既存事業所の拡張支援に積極的に取り組んだ結果、市内数社の事業拡張計画が順調に進んだ。</p> <p>◎この取組が市民生活に密着した取組ではないため、市民意識調査の結果では市民の重要度・満足度は低い結果となっているが、袋井産学官連携推進協議会の産学官交流会などの取組に加え、商工会議所や商工会、金融機関の積極的な働きかけにより、経営革新計画の承認件数や静岡理科大学との共同研究数も概ね順調に推移している。取組の必要性や成果について市民の理解を深めながら、継続して取り組んでいく必要がある。</p>	H28の評価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	<p>◎新たな工業団地整備のため、豊沢工業団地を計画的に整備するとともに、小笠山山麓開発事業については、農用地区域からの除外に向けた協議と地権者協定の締結を進めた。</p> <p>◎市内企業の成長支援と、大学と企業の共同研究を促進するため、補助金の募集案内やセミナー開催などの情報を積極的に配信するとともに、産学官交流会の開催や静岡理科大学の技術研究会への活動支援を行った。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎市内外企業の移転・拡張需要への対応と雇用確保のため、豊沢工業団地整備を計画的に進めるとともに、小笠山山麓開発地区への企業誘致など着実な推進を図る。また、企業訪問に加え、遊休地情報の提供や既存事業所の拡張支援などの相談に積極的に対応していく。</p> <p>◎袋井商工会議所や浅羽町商工会、静岡理科大学や金融機関等と連携しながら、中小企業の販路開拓や新技術・新製品の開発などを促進していく。</p>		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組2	戦略的な観光の推進
取組の目的	まちの魅力アップと情報発信に努め、観光交流客を増やします。

現状と課題	<p>◎国では、ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、2020年の訪日観光客数を4千万人とするなど新たな観光ビジョンを策定するとともに、地方においては、日本人の国内旅行、団体旅行の減少が続く中、地域経済の活性化に向けて観光に力を注ぐ都市が増えている。</p> <p>◎本市を訪れる観光客の傾向は「安く、近く、短期間、少人数で」となっているため、ラグビーワールドカップを契機とし魅力ある滞在型観光プランの創出やツアー会社との連携強化など、経済効果を高めていくことが必要である。</p>
-------	---

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	観光交流客数 (千人)	目標値	—	—	4,470	4,540	4,750	100.0%
		実績値	4,232	4,660	4,635			
2	観光案内所来場者数 (人)	目標値	—	—	22,000	24,000	30,000	80.8%
		実績値	6,171	6,434	17,772			
3	ホームページ等のアクセス数 (観光関係) (件)	目標値	—	—	680,000	710,000	800,000	80.0%
		実績値	619,236	540,146	543,938			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								86.9%

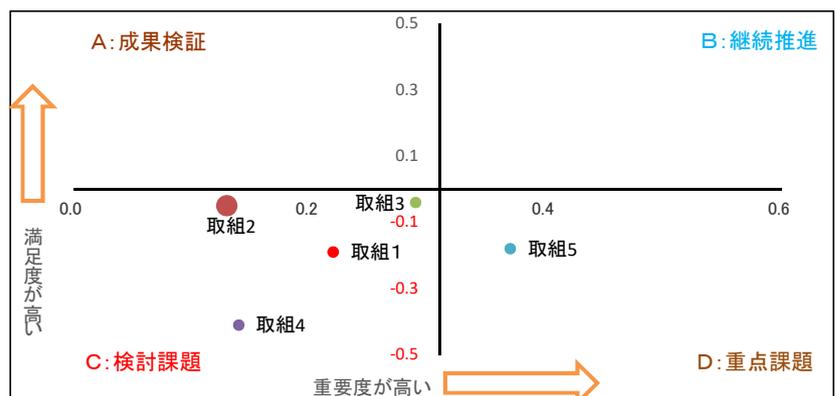
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	観光交流客数(千人) 県「平成27年度静岡県観光交流の動向」	4,660	3,574	3,944	2,415	2,420	—
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.13				
満足度	-0.05				

### 政策4 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

##### 基本方針(1)袋井ブランドの創出

ふくろい遠州の花火補助事業	産業政策課	9,009	8,550	継続	
ふくろい観光ルネッサンス事業	産業政策課	4,466	4,192	継続	
遠州三山等魅力創設事業	産業政策課	0	300	継続	◎

##### 基本方針(2)マーケティングの推進

観光関係印刷物作成事業	産業政策課	1,603	1,332	継続	
観光広告掲載事業	産業政策課	498	530	継続	
観光案内所運営事業	産業政策課	1,391	2,181	継続	
インバウンド観光推進事業	産業政策課	1,765	3,500	継続	◎

##### 基本方針(3)担い手の充実と育成

観光団体活動支援事業	産業政策課	8,551	7,150	継続	

##### 基本方針(4)おもてなしの充実

観光施設管理事業	産業政策課	4,345	19,829	継続	

##### 基本方針(5)戦略的な商品販売の支援

ふくろい観光ルネッサンス事業【再掲4-2-(1)】	産業政策課	4,466	4,192	継続	


#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎ラグビーワールドカップに向けたインバウンド対応として、おもてなし英語ガイドの作成及びスポーツホスピタリティに関する調査等を実施し、まちの国際化に向けた環境整備を早期に推進した。 ◎平成28年3月19日に開設した「新観光案内所」の影響が大きく、観光案内所来場者数は大幅に増加したが目標には届かなかった。また、ホームページのアクセス数では、昨年度よりわずかに増加したが、特に観光協会の運営するフェイスブックやブログのアクセス数が昨年と比較し減少しており、内容充実を図るとともに更新回数を増やしていく必要がある。	H28 の評価	一部に 改善を要する
II. 28年度に取り組んだ内容	◎ふくろい観光ブランドの推進として、遠州三山自分巡礼の旅やまちじゅうひなまつりプロジェクトなど、観光協会と連携を図り、観光客増加に向けた取組を実施した。 ◎旅行会社を対象にファミトリップの実施や商談会へ参加等、本市の魅力情報を発信するとともに、花火と観光を組み合わせた滞在型観光ツアーなど、ニューツーリズム商品の開発を実施した。		
III. 今後の展開方向	◎ふくろい観光ルネッサンスとして市観光協会と連携し実施している、遠州三山を中心とした“風鈴まつり”や“自分巡礼の旅”、可睡齋ひなまつりとまちじゅうひなまつりプロジェクトなどの行事や各種イベントへの誘客を図るとともに、本市を訪れる観光客が市内を周遊できる仕組みをつくる。 ◎2019年のラグビーワールドカップやディスティネーションキャンペーンを見据え、スポーツツーリズムやグリーンツーリズム、サイクルツーリズムなど、テーマ性のある滞在型観光プランや新たな観光商品の創出を図る。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組3	経営力の高い農業の振興
取組の目的	消費者に選ばれる安全で質の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します。

現状と課題	◎国の成長戦略では、「担い手への農地の集約」「輸出や海外戦略の拡大」「6次産業化、農業のイノベーション化」が掲げられ、TPP交渉を踏まえ強い農業者づくりが求められている。 ◎高齢化や後継者不足による農業者の減少に伴い大規模農家への農地の集積・集約化が進む中、耕作放棄地の増加等、農地保全の重要性が見直され、大型農家と中小農家との連携・地域づくりが求められている。
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	主要農産物産出額(推計値) (億円)	目標値	—	—	76.8	76.5	75.3	91.9%
		実績値	77.6	73.3	70.6			
2	農業法人数 (法人)	目標値	—	—	36	37	40	97.2%
		実績値	34	34	35			
3	利用権設定面積 (ha)	目標値	—	—	1,006	1,029	1,100	96.1%
		実績値	960	983	967			
4	農業農村の多面的機能の発揮 に向けた取組面積 (ha)	目標値	—	—	2,080	2,085	2,100	99.5%
		実績値	2,070	2,070	2,069			
		目標値						
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								96.2%

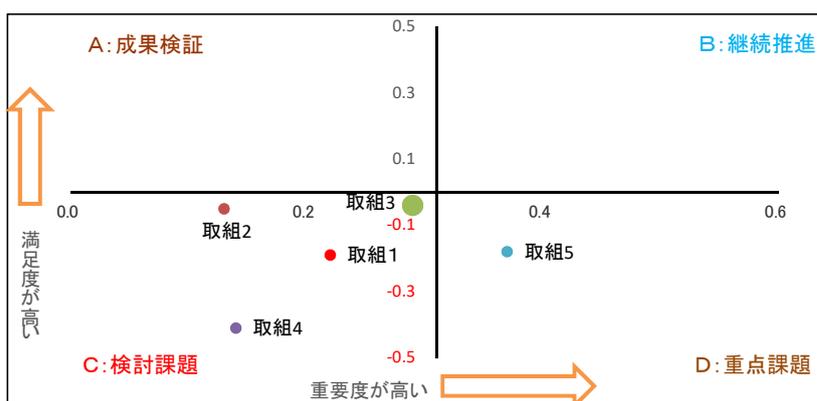
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	多面的機能認定農用地カバ率(H27) (認定農用地面積/農振農用地面積)(%)	67.6	16.5	25.3	8.3	15.2	—
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.29				
満足度	-0.04				

### 政策4 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

##### 基本方針(1)次代の担い手育成の推進

経営所得安定対策推進事業	農政課	3,751	3,899	継続
担い手育成支援事業	農政課	10,791	11,325	継続
袋井市農業振興会補助事業	農政課	2,200	4,090	縮小
クラウンメロン振興事業	農政課	3,743	2,930	継続

##### 基本方針(2)農地の適正利用と基盤整備

大井川右岸土地改良区分担金支出事業	農政課	5,610	5,610	継続
磐田用水東部土地改良区分負担金支出事業	農政課	23,725	39,856	継続
基幹水利施設管理事業(浅羽揚水機場)	農政課	20,243	29,234	継続
農業施設維持管理事業	農政課	24,295	17,583	拡充

##### 基本方針(3)農産物の高付加価値化と販路拡大

世界に飛び出せメイドイン袋井推進事業	農政課	0	2,000	継続	◎
「ふくろいブランド米」開発販売促進事業	農政課	400	200	継続	
袋井茶振興事業	農政課	5,963	10,790	継続	
6次産業化促進支援事業	農政課	636	1,619	継続	
産地パワーアップ事業	農政課	63,803	64,752	継続	

##### 基本方針(4)安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進

農業振興推進事業費補助金	農政課	2,191	2,000	継続	
おいしい給食推進事業	おいしい給食課	446,108	319,704	継続	

##### 基本方針(5)農地の多面的機能の維持

環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	730	800	継続	
多面的機能支払交付金事業	農政課	157,353	157,207	継続	

##### 基本方針(6)農資源のさらなる有効活用

市民農園運営事業	農政課	254	308	継続	
耕作放棄地対策事業費	農政課	1,208	4,875	継続	

#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎クラウンメロンの海外輸出促進(トップセールス等)や首都圏での販売促進など、3大基幹作物の消費拡大と市場開拓に向けた積極的な取組を推進するとともに、メロンピューレを利用した加工品の販売促進など市場外流通においても成果を上げた。 ◎主要農産物産出額(推計値)は減少しているが、担い手の育成や農地集積の推進が図られている。 ◎高齢化、後継者不足から農業者が減少する一方、他業種からの農業参入や意欲ある農業者の法人化等により農業法人数は増加している。	H 28 の 評 価	一部に 改善を要する
II. 28年度に取り組んだ内容	◎農家所得向上のための水田フル活用ビジョンを策定するとともに、農業への新規参入や営農を軌道に乗せるため、担い手育成支援(補助)を実施した。 ◎東南アジア(タイ・マレーシア)等へのクラウンメロンの輸出促進に向けて、トップセールスや現地商談会を実施した。また、東京スカイツリーでの袋井農産物PRin東京を開催した。 ◎袋井茶振興協議会への補助を通じて、良質茶生産指導及び消費拡大の推進を図った。		
III. 今後の展開方向	◎新規就農者や意欲と能力のある新たな担い手に対して育成支援を行うとともに、意欲と能力がある担い手への集約を促進する。 ◎基幹3作物を中心としたブランド化の推進と、海外市場への売込みを促進する。 ◎地産地消の推進と地場野菜の耕作面積の増加を図るため、農業者・加工・流通のバリューチェーンを強化するとともに、ICTの活用による農業の効率化や生産性の向上を促進する。 ◎効率的な農作業、生産コスト低減のため、ほ場の大区画化や暗渠排水等の基盤整備を実施する。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組4	魅力的な商業の振興
取組の目的	商店の個性ある魅力づくりや経営体質の向上を支援し、にぎわいあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎商店街などでは、店主の高齢化や後継者不足による空き店舗の増加に加え、主要幹線道路沿いや近隣市への郊外型大型店の出店等による買い物客の減少が課題となっている。さらには、インターネットによる通信販売の利用が拡大し、従来型の商業施設での買い物からインターネットでの買い物へと消費者のニーズが変化している。
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	売上(収入)金額(卸売業・小売業) (百万円)	目標値	—	—	240,000	240,000	240,000	—
		実績値	235,545 (H23)	—	—			
2	創業件数(卸・小売業、サービス業の件数) (件)(H28~32累計)	目標値	—	—	22	46	130	31.8%
		実績値	94 (H22~26累計)	17	7			
3	消費者講座の受講者数 (人)	目標値	—	—	730	740	770	100.0%
		実績値	709	732	749			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								65.9%

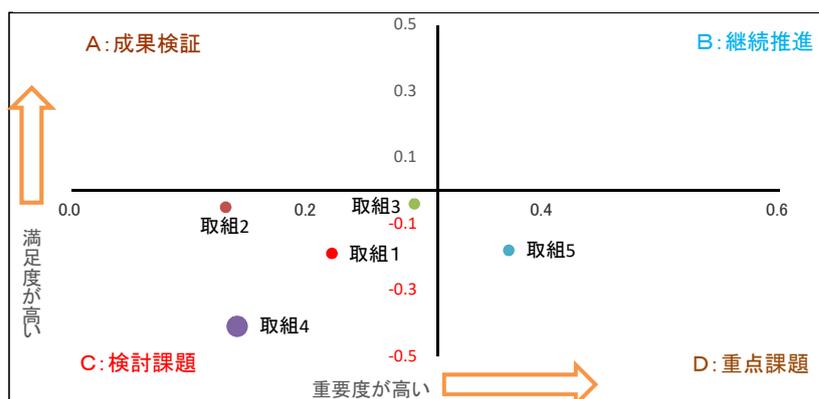
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	卸売業の年間商品販売額(万円) 「平成26年商業統計調査」	16,533,153	11,867,108	7,350,269	17,230,550	26,254,497	—
2	小売業の年間商品販売額(万円) 「平成26年商業統計調査」	7,892,749	14,285,772	11,123,014	13,243,872	3,706,241	—
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.14				
満足度	-0.41				

### 政策4 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

##### 基本方針(1) 事業者等の経営体質の強化

袋井商工会議所補助事業	産業政策課	18,250	17,500	継続	
浅羽町商工会補助事業	産業政策課	8,730	8,290	継続	
小口資金利子補給事業	産業政策課	47	101	継続	
短期経営改善資金利子補給事業	産業政策課	382	558	継続	
景気対策特別資金利子補給事業	産業政策課	1,439	1,981	継続	

##### 基本方針(2) 魅力ある個店づくりの推進

個店魅力アップ事業	産業政策課	933	1,663	継続	

##### 基本方針(3) 商店街活性化に向けた取組の推進

創業支援推進事業	産業政策課	926	1,200	継続	◎
中心市街地活性化推進事業(空き店舗対策事業)	産業政策課	857	1,000	継続	
商店街イベント事業	産業政策課	1,000	1,000	継続	

##### 基本方針(4) 消費者トラブルの解決と防止のための啓発の推進

消費者啓発事業	産業政策課	995	530	継続	
消費生活相談事業	産業政策課	183	182	継続	
迷惑電話対策事業	産業政策課	0	2,300	継続	



#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎個店セミナー(まちゼミ)の開催など個店の創意工夫を醸成する仕掛けづくりは一定の成果が出ている。また、空き店舗対策事業補助金により、新たに3店舗が開店し中心市街地の新陳代謝が進んだ。 ◎商工会議所や商工会、金融機関等と連携し策定した「袋井市創業支援事業計画」に基づき創業塾や創業支援セミナー等を開催し、創業希望者への支援を行った。今後は、支援事業を利用した創業希望者に対し、創業支援事業の情報提供を行うとともに現状を伺うなかで次の支援につなげるなどのフォローアップが必要である。	H 28 の 評 価	一部に 改善を要する
II. 28年度に取り組んだ内容	◎個店セミナー(まちゼミ)などの個店の魅力を向上させる取組を実施するとともに、袋井駅前の空き店舗情報のHPでの公開や補助金制度により、新規出店者の入居につなげた。 ◎創業相談会や創業希望者掘り起しセミナー、創業塾を実施するとともに創業支援ネットワーク連絡会により支援団体の連携を図った。		
III. 今後の展開方向	◎商店街が開催するイベントや空き店舗への出店者に対し支援を行うとともに、個店の魅力アップやその情報発信の機会を創出していく。さらに、商業の新たな担い手の発掘とにぎわいの創出を図るため、チャレンジコラボショップ事業により創業希望者に実践と人材交流の場を提供していく。 ◎消費者啓発事業を推進するとともに、消費者被害の多くが電話をきっかけとしていることから、迷惑電話対策機器の普及を図り、深刻化する高齢者等の消費者被害の未然防止に努める。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組5	雇用環境の充実
取組の目的	地域経済と市民生活の基盤を確立するため、誰もが安心して働ける雇用環境を充実させます。

現状と課題	<p>◎ハローワーク磐田管内の雇用失業情勢は、有効求人倍率が平成27年12月に1倍台に回復した後も上昇傾向をたどり、平成28年12月には1.6倍に達するなど、着実に改善が進んでいる。一方、人手不足感が広がりをみせており、中小企業における経営課題となっている。</p> <p>◎将来的な労働力不足の懸念から、労働生産性の向上と働き方の見直しを進めるとともに、女性、高齢者など働く希望を持つすべての人が安心して働くことができるよう、多様で柔軟な働き方を実現することが求められている。</p>
-------	---

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	高校生と企業を結ぶ合同企業説明会への市内参加企業数(社)	目標値	—	—	17	19	25	88.2%
		実績値	13	13	15			
2	市内学校でのインターンシップの参加率(%)	目標値	—	—	62.0	63.0	66.0	92.7%
		実績値	60.3	64.6	57.5			
3	サンライフ袋井の施設利用者数(人)	目標値	—	—	20,100	20,200	20,500	100.0%
		実績値	19,788	20,130	22,432			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								93.6%

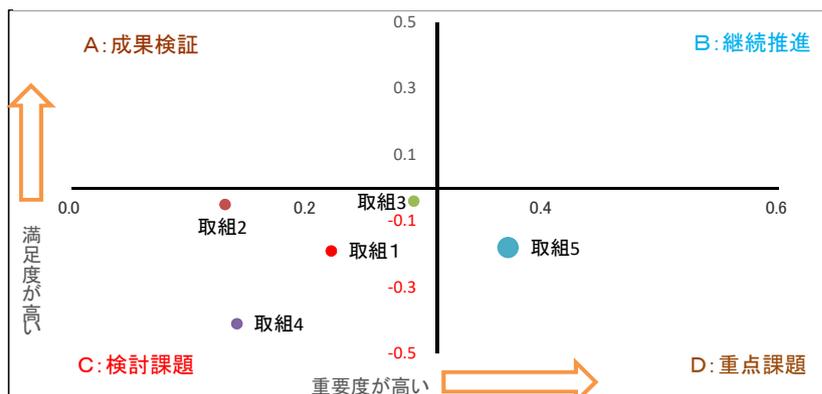
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	御殿場市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.37				
満足度	-0.18				

### 政策4 重要度と満足度の評価マトリクス



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に重点化する事業
		H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	

##### 基本方針(1)雇用の安定と促進

事業名	担当課	H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	
雇用対策事業	産業政策課	102	162	継続	

##### 基本方針(2)就労支援の推進

事業名	担当課	H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	
3Days Worker's Office構想推進事業	産業政策課	40,000	協議会20,004	継続	◎
内職・職業相談事業	産業政策課	1,139	1,157	継続	

##### 基本方針(3)勤労者福祉の充実

事業名	担当課	H28年度実績額	H29年度予算額	H30年度予算の方向性	
勤労者教育資金利子補給事業	産業政策課	715	882	継続	
勤労者住宅建設資金利子補給事業	産業政策課	22,861	25,242	継続	
サンライフ袋井管理運営事業	産業政策課	26,013	26,411	継続	
袋井地区労働者福祉協議会補助事業	産業政策課	776	737	継続	
袋井市勤労者福祉協議会補助事業	産業政策課	776	737	継続	
遠州ライフサポートセンター支援事業	産業政策課	7,960	7,960	継続	




#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎高校生と企業を結ぶ合同企業説明会や地元企業見学パスタツアーの開催により、学生の職業観の醸成や地元企業への関心を高めるなど一定の成果が出たものの、足元では中小企業を中心に労働力不足が経営課題となっており、売り手市場の中で企業側のニーズへの対応が課題になっている。 また、20歳以上の市民を対象に実施した市民意識調査の結果では、取組に対する満足度は低い結果となっており、就労支援や相談事業・支援体制の充実に取り組む必要がある。	H28の評価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎3Days Worker's Office構想の推進では、新しい働き方に向けた実証事業を実施し、高齢者等の活躍機会を拡大する新たな取組に着手し、大きな一歩を踏み出した。 ◎サンライフ袋井の施設利用者を増やすため、定期講座の定員枠の拡大や、短期講座を積極的に開催するとともに、「あっ！とホーム祭」にラジオ番組の公開収録を組み込み、例年に比ベインパクトのあるイベントとし、講座や施設のPRを図った。		
III. 今後の展開方向	◎中小企業への就職促進や雇用のミスマッチの解消を図るため、磐田市及び商工団体等と連携し、企業と学生を結ぶ場を提供していく。 ◎就労意欲のある高齢者等が「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら生涯活躍できるまちづくりを目指す3Days Worker's Office構想を推進し、活躍機会の拡大、新しい働き方の実現により、担い手の確保に繋げていく。		